

死にももの狂いで やります

～ロンドン五輪マラソン代表
山本亮選手(法学部卒)～



中大学生へアドバイス

好きなものを
何か一つ決めて、
それをとことん
突き詰めてください

大盛況だった出場激励会

ロンドン五輪マラソン代表の山本亮選手(2007年法学部卒業=佐川急便)を迎えた「出場激励会」(主催・中央大学陸上競技部OB有志の会)が5月21日夕、東京・上野の上野精養軒で行われた。

超満員の会場で学生記者・山下緑が突撃インタビューした。テーマは現役

学生に参考となる“五輪への思い、多忙時の時間の使い方”。

1日5コマ授業を受けた

お歴々の挨拶が終わり懇親会になると、山本選手は人の輪に包まれた。写真撮影のリクエストが相次ぎ、サイン攻めにもあった。「30人くらいかと思っていたら」(関係者)約140人が詰めかけた。中央大学から五輪マラソン代表を輩出するのは2000年シドニー五輪、佐藤信之選手(ミズノ)以来。喜びに沸く大盛況の会場で、学生記者の突撃インタビューは不可能かと思われたが、大先輩が初対面ながら橋渡しをしてくれた。記者は五輪代表選手の前に出た。



頼まれてサインをしている場面



記念撮影のラッシュ

——五輪出場おめでとうございます。
「ありがとうございます。たくさんの方々にこうしてお祝いして頂き本当に光栄です」

——ぜひ聞きたいことがあります。
「どうぞ。なんでも」

——中大時代は授業、練習、試合などで忙しく、大変な毎日だったと察します。教職課程も取っていたと聞いています。

「3年生が一番厳しかったですね。水曜日でした。教職課程を取っていたので。朝6時に練習を始めて、寮から9時のバスで大学へ。1限、2限と授業を受け、このあと練習再開。4限、5限、6限とまた授業。固めるところは固めました。木曜はゆっくりしました」

——大切なのは集中力ですね。中大生にもうひとつ、お願いします。

「好きなものを何か一つ決めて、それ

をとことん突き詰めてください。私がここまで来られたように、必ず自分の行きたい場所に行くことができるはずですよ。応援しています!」

五輪コースに縁

大きく瑞々しい目。時折私を見ながら話す五輪代表選手には、箱根の山のように凜とした強い心が感じられた。物腰に一步引く謙虚さを併せ持った魅力的な人だ。

中央大学の前身は英吉利(イギリス)法律学校。ロンドンには中大がモデルとした法曹院「ミドルテンプル」があり、五輪マラソンコースの近くに位置するという。

永井和之前総長・学長はあいさつで、「英国の彼らはイギリス選手を応援するでしょうが、日本選手では山本君をぜひ応援していただきたい」と話した。

五輪選手は新しい援軍を得た。あいさつでは、高らかに言い放った。

「僕は死にもものぐるいでやります。スタートラインに立った時、“こいつ、やるな”と思わせます」

山本選手が出場する男子マラソンは大会最終日の8月12日。スタートに注目だ。

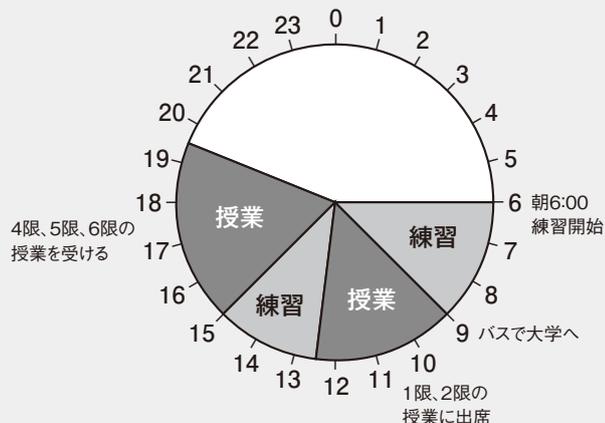
(学生記者 山下緑=総合政策学部3年)

やればできる、山本選手が手本だ

碓井哲雄・陸上競技部OB会副会長の話「山本君は大学を卒業してから成長した。やればできる。やらなきゃできない。学生に言いたいね」

略歴 山本亮(やまもと・りょう)兵庫県出身。1984年5月18日生まれ。長田高—中大。好きな食べ物は唐揚げ、ラーメン、鍋もの。プロフットボールNFLのテレビ観戦。

■3年生の水曜日のタイムスケジュール



中央大学 五輪マラソン出場選手一覧

田代菊之助	1924	パリ
西田 勝雄	1952	ヘルシンキ
渡辺 和己	1960	ローマ
佐藤 信之	2000	シドニー
山本 亮	2012	ロンドン

(中大スポーツ=中央大学学生会体育会)